



名古屋YWCA

キリスト教基盤に立ち、共に生きる平和な社会を実現する

2025 年度活動目標
繋がりあう力を培い、
新たな活動を共に創りだす

2025
4・5
680号



ひさ
講師：本山央子さん
お茶の水女子大学ジェンダー研究所
特任リサーチフェロー

第50回2.11 平和集会

フェミニズムの視点から考える 日本の「戦後平和」と 「新しい戦争」

2025年2月11日（祝・火）
名古屋YWCAビッグスペース

参加：会場38名、オンライン5名
アーカイブ視聴22名

第50回の平和集会は、お茶の水女子大学特任リサーチフェローである本山央子先生に講演いただいた。

講演内容は、フェミニズムの過去から現在までの歴史を4段階に分けて考察した。一つ目の「戦争・平和・安全保障：伝統的言説とフェミニズムの批判」は、伝統的な安全保障の考え方では、国家が暴力を独占することで秩序＝平和は維持される。そこにおいて、男性は共同体のため命を捧げる兵士＝市民であり、女性は共同体のため命を生み育てる母であり、保護される女性の市民権は否定され男性への従属が正当化されたと説いた。二つ目の「国際安全保障のジェンダー主流化」では、冷戦後、今までのように国家や軍事を中心に自分たちの安全保障を考えていて良いのかと見直しの機運が高まってきたことにより「人間の安全保障」に焦点が当てられることとなり、その中で「ジェンダー」「女性」は国際安全保障の不可欠な一部となってきたと主張。三つ目の「日本の再軍事化とジェンダー主流化」では、冷戦終結後、日本が一貫して軍事的安全保障を拡大してきたことに触れ、国際的地位を維持するためには経済力だけでなく軍事力が必要と考え、第2次安倍内閣に

おいては、「積極的平和主義」を掲げ「集団的自衛権」行使を可能にする安保政策推進の一方で、「女性活躍」外交を推進したと説いた。

最後の「日本の新しい戦争の時代と『戦後平和』」では、「新しい戦争の時代」に立ち向かうために「戦後平和」の見直しは不可欠であり、現在は、フェミニズムが批判してきたことが取り込まれながら、新たな軍事主義・帝国主義が再編成されていると結んだ。

質疑応答では、ジェンダーを言葉にすることが難しくなったと感じた参加者が、「より多くの人に受け入れられるためには、牙を抜かれる方法もあり得るのだと考えるが、より広く社会に共感を得ることと、本質を見失わないこととの両立はどのように成り立つのか？」と質問した。本山先生は、「私がフェミニズムで大事にしてきたことの一つは、自分の足場を問い直すことである。誰かに要求したり、人を攻撃したり、追及するためというよりは、自分の立ち位置を見直すことが大事である。何が足りないのかを考える、これが大事なこと。自分の言葉でジェンダーについて語っていけばよい。」とご自身の考えを述べ助言された。

（平和集会実行委員会 武藤さくら）

今月の聖句

「主に望みをおく人は新たな力を得
鷲のように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない」
（イザヤ書 40 章 31 節）

私たちの活動は、みなさまの寄付で支えられています

寄付キャンペーン 4月 名古屋YWCA全体へ

詳細はロビーの掲示版、ホームページをご覧ください



世界各地の文化にふれながら楽しく交流できる

多文化まつり

2月22日(土)

名古屋学院大学 国際文化学部国際文化学科2年
筒井怜奈



司会グループ(左から2人目が筆者)



国際交流会の折り紙教室

多文化まつりに名古屋YWCA高等学院国際コースの高校生と名古屋学院大学の学生がコラボ企画で参加しました。

このまつりに向けて2月3日からの1週間、高校生と大学生で司会グループ、展示グループ、ステージグループに分かれ協力し合いながら準備を重ねました。そして当日は約100名もの来場者と共に、多文化まつりを盛り上げることができました。

会場には世界の民族衣装を着ることができるブースや折り紙を体験することができるブース、また日本の伝統的な遊びである「かるた」や「めんこ」を体験することができるブースなど様々なものがありました。なかでも「めんこトーナメント」では学生と大人での熱い試合も繰り広げられ、楽しいものとなりました。他にも、ダンスや歌のパフォーマンス、展示などから世界の文化を知ることができ、多文化まつりを通してこれまで以上に多文化理解を深めることができました。

楽しく交流をしながら世界各地の文化に触れられるという、非常に素晴らしいまつりとなりました。

YWCAの活動に貢献した83歳以上の会員に贈られる Y's Wonderful Women 賞

受賞した名古屋YWCAの3名からのメッセージです



長縄 光子さん

六十余年前に会員になりました。世界と繋がっている組織として、平和を実現していく活動を、そして弱い立場の人に寄り添いつつ先進国の中でも遅れをとっている女性のリーダーシップを高めていくこと、キリスト教を基盤として今の時代に求められている活動に添えていけるYWCAであってほしいと願っています。



中村 紀子さん

一九六三年に会員になり、さまざまな形で名古屋YWCAに関わってきました。YWCAが社会に先がけて行ってきたことを他の団体でも行うようになった「今」ですが、この社会と世界の中で、声を上げる力を奪われ、小さくされた人たちのそばに立つYWCAの活動はこれからも必要です。今、そして、これから活動する方々が考え、実行していくことを応援し続けます。



磯井 和子さん

伊勢湾台風の直後に名古屋YWCAの被災地移動託児所に駆けつけたのが初めです。現在はキリスト教基盤部会と歌の会ラブルゴに所属しています。YWCAのC(クリスチャン)を縦軸、A(アソシエーション)を横軸に今後も活動を続けていってほしいと願っています。



炊き出し練習のための
大鍋カレーの日

4月8日(火)
12:00~売切れまで
名古屋YWCA 1階にて

運営のためのカンパ 1杯300円以上

広報ファンドレイジング委員会 おいしいね部



名古屋YWCAのキャラクター「きふっち」のLINEスタンプ販売中!
<http://line.me/S/sticker/1288156> または「Kifuchie」で検索してください。



聖書に聞く 99

島しづ子 (日本基督教団うふざと伝道所牧師)

シモン・ペトロのところに来ると、ペトロは、「主よ、あなたがわたしの足を洗ってくださるのですか」と言った。イエスは答えて、「わたしのしていることは、今あなたには分かるまいが、後で、分かるようになる」と言われた。

ヨハネによる福音書 13章6～7節

六年程前のこと、礼拝後に玄関を出たNさんが振り返りながら言いました。「島さん、引退したら、“教育と教養が大事”って知ってますか」と。「なぜですか?」と聞くと、Nさんは言いました。「『今日、行くところがある』『今日、用がある』ってことですよ。」引退後、地域のボランティア活動の責任も終えたNさんだからこそこのジョークだと思いました。その時には実感がありませんでした。外出や仕事が億劫になり始めましたので「今日行く」「今日用」が思い出され、自分を鼓舞しています。Nさんの発案なのか、誰かからの受け売りなのかは聞きそびれました。

イエスはエルサレムでの最後の日々、自分の逮捕と死が迫っていることを自覚して、遺していく弟子たちがイエスの死後も生きて行けるようにいろいろ

語りました。けれど弟子たちはイエスの受難を現実の事とは理解できていませんでした。ヨハネによる福音書13章にイエスが弟子たちの足を洗う場が記されています。イエスに汚い足を洗ってもらうことなどできないと拒むペトロに、イエスは「今あなたには分かるまいが、後で、分かるようになる」と語りました。イエスの死後、イエスを見捨ててしまった弟子たちの苦しみ。弟子たちは後悔の中で、イエスが自分たちをまるごと愛して下さったことに気づきました。私たちも愛されていたことに後から気づきます。弟子たちの足を洗った後、イエスは「あなたがたも互いに足を洗い合わなければならない」と語っています。イエスの愛を実践するようにとの招きでしょう。「今日用が無い」時こそ、世界の和解のための祈りへと導かれますように。

*今号から、長く名古屋堀川伝道所で牧師をされ、2020年に沖縄に移られた島しづ子さんにご執筆いただきます

広報ファンドレイジング委員会

思い出インタビュー

※パソコンはホームページのリンクからご覧ください



会員に思い出を語ってもらうインタビュー動画の制作をすすめています。

今回、新たにお二人のインタビューを公開します。



山崎京子さん

1960年から1970年まで西区の名塚にあった、若い女性のための宿舎「労働センター」のお話を聞きました。

当時の仲間で作ったグループ「みずのわ」は、現在は名古屋YWCAのグループではありませんが、今も集まって親交を深めているそうです。



youtube



横澤生子さん

路上生活者に食事を提供するグループ「スープキッチン」は、2002年、アメリカ人英語講師メアリー先生の好奇心

と行動力から始まりました。

最初からメアリー先生と一緒に活動した横澤さんに、「スープキッチン」の始まりについて聞きました。



youtube

司法書士事務所 ひらら

たいら かずき
司法書士 平良一器

日進市赤池 2-607 クロムビル 2A
TEL 052-680-8978

登記・相続・遺言・成年後見・借金整理

恵沢法律事務所

離婚、相続、遺言、交通事故、不動産
その他 法律問題全般

弁護士 内河 恵一
弁護士 雑賀 正浩
弁護士 近藤 雅樹
弁護士 原 富祐美

〒460-0002
名古屋市中区丸の内1丁目
4番29号 愛協ビル3階
TEL 052-221-1150
FAX 052-221-8635



教会に + おじゃまして〜す①

日本基督教団 名古屋中央教会
名古屋市東区久屋町 8-6



取材の時、パイプオルガンの練習をされていて、すてきな音色を聞くことができました。オルガニストはこちらの鈴木美紀子さんのほか 10 名ほどおられるそうです。

シリーズの最初は、名古屋YWCAから一番近い「名古屋中央教会」におじゃましました。名古屋中央教会の創立は一八七八年。名古屋初のプロテスタント教会として伝道を開始して今年で百四十七年目です。創立から十年後、現在の地に木造の教会が建てられました。今は「栄」の中心ですが、その頃は麦畑だったそうです。一九二八年に鉄筋コンクリート3階建てに改築しましたが、一九四五年の名古屋大空襲で焼失



牧師の竹内款一さん(右)と伝道師の日下部蒔恵さんが迎えてくださいました。

ました(当時、同じ敷地内にあった名古屋YWCAもこの時に焼失しました)。教会堂は一九五〇年に復興し、一九七一年に現在の教会堂が建てられました。一九九三年にはドイツ製の本格的なパイプオルガンが設置され、美しい音色を奏でていきます。現在は、毎週日曜日の礼拝のほか、水曜日の「聖書の学びと祈りの集い」(十四時/十九時)、「金曜夕拝」(十九時)などの集会、パイプオルガンの礼拝音楽とともに静かにすすす「ヌーンサーピス」や「バザー」なども行っています。クリスマスでなくても、どなたでも参加できます。「礼拝や集会の前には教会の鐘が鳴り、パイプオルガンの音色が響き、讃美歌の音が聞こえる：この『音』は名古屋中央教会ならではのものではないでしょうか。街が大きく変わっても、この地で教会としての歩みが続けてこられたのは奇跡と言えると思います」と竹内牧師は話しておられました。

医療法人財団 愛泉会

理事長 井手 宏

愛知国際病院 院長 太田信吉

診療科：外科・消化器科 内科 整形外科
皮膚科 胃腸科 リハビリテーション
循環器科 リウマチ科
肛門科 神経内科

老人保健施設 愛泉館

施設長 井手 宏

〒470-0111 愛知県日進市米野木南山 987-31

愛知国際病院 0561-73-7721

ホスピス 0561-73-3191

訪問看護ステーション えまい 0561-73-8154

老人保健施設 愛泉館 0561-74-1711

有料老人ホーム カナン 0561-74-8260

日進市東部地域包括支援センター 0561-74-1300

指定居宅介護支援事業所愛泉館 0561-74-1341

2025 年度キリスト教基盤 読書会

差別はたいてい悪意のない人がする (大月書店)

キム・ジヘ (著)、尹怡景 (翻訳)

私たち自身の中にある思考のバイアスと、日常の中にありふれた排除の芽に気づき、真の多様性と平等を考えるための思索的エッセイ。

参加者が語りあう読書会です。

毎月第3火曜日 14:30 ~ 16:00

参加費 300 円 (お茶、お菓子つき)

参加希望の方はご一報ください。

主催：キリスト教基盤部会



性暴力と服装を考える展示

「そのとき、あなたは何を着てた？」展

2月11日(土) 201、202号室(来場者55名)



「性暴力被害は若い女性が挑発的な服装をしてきた」という偏見のために被害者が相談を躊躇したり、勇気を振り絞って相談しても「あなたに際があったのでは」「あなたが若いから」など周囲の反応で更に傷つけられる二次被害に遭う現状があります。

この展示は「被害に遭ったあなたは悪くない」というメッセージを届けるもので、アメリカで始まり、日本では一昨年に上智大学で初めて開催の後、各地で展示が続いています。

今回は性被害に遭った時の服装を再現した服八着と、当事者の同意のもと出来事や思いが綴られた説明文を展示しました。

展示の服装は、自身や身近な誰かが、幼い時に、学生の頃に、通勤の時に、自宅にいる時に、着ていたような衣類であり、そして今も誰かが着ているような服でした。その服がそれぞれ沈黙してその被害と、心のうちの苦しみや悲しみ、恐怖、混乱、孤独を内包してたたずんでいるようでした。入場者の方々は一様に静かに服と説明文に向き合っておられました。そしてメッセージとアンケートには深い思いを記してくださいました。

被害は日常の中で身近に起こっており、女性も男性も性について・性暴力について正しい知識を学ぶことが、被害をなくすための最初の一步であり、私たちが生きる社会にとって必要であると強く感じた展示でした。

(大須賀美佐)

語学・教育部

「英語で読むショートストーリー」や「身につくネイティブ英会話B」は、わかりやすい資料と緻密な準備で充実した授業が多くの生徒に好評です。担当するエミリー・ベイリー先生に自己紹介を書かせていただきました。



Photo Credit: GeoffreyGriggsPhotography

Hello there! I hope you're having a good day, or evening or whatever time this finds you. My name is Emily, and I'm one of the teachers here at the YWCA. I joined in late 2023 and teach literature, reading, creative writing, and English conversation.

I'm originally from Australia, I grew up in a country town called Toowoomba. It's okay if you haven't heard of it. Suffice to say that it's green and spacious and pretty. I've been living in Japan for almost ten years, having first arrived as an exchange student. My undergraduate degree was in English literature, and I enjoy using that when I teach at the YWCA.

I'm involved in a variety of hobbies and community groups, especially after I freed myself from the albatross of postgrad study in 2024 (my master's was in applied linguistics and TESOL). My main interest would have to be theatre. I've been performing with the Nagoya Players since 2019, and this has led me to experience innocence, trauma, humour and grief, to dance, to explore sexuality, to laugh and cry. The roles I acted in were pretty interesting too.

My other interests include dance, art, Brazilian jiu-jitsu and weight training. Then there's poetry. Growing up, my mother and I bonded over poems. My father and I bonded over cookies. I enjoy writing poems with rules, a set rhythm and a set rhyme. That's not the vogue nowadays, but I like the challenge of playing to rules of your own invention. And that's very much like life. Spend years making your own rules, protect them when you have to, change them when you have to. And try to know which is which.

こんにちは！オーストラリアのトゥーンバ出身のエミリーです。日本には10年近く住み、最初は交換留学生として来ました。学士号は英文学で、それを生かしてYWCAで教えています。趣味は多岐にわたり、特に演劇が好きです。名古屋プレイヤーズで2019年から活動しており、その経験を通じて多くの感情や表現を学びました。その他、ダンス、アート、ブラジリアン柔術、筋トレにも興味があります。詩を書くことも好きです。

あなたの美容室

ヘア&メイクアトリエ

ポアソン レヴール

栄4丁目
ライオンズマンション久屋公園216
TEL (052)261-1410
《ご予約をお願いします》

私たちの活動は、みなさまの寄付で支えられています

寄付キャンペーン

5月 サポート校

詳細はロビーの掲示板、ホームページをご覧ください

サポート校：名古屋YWCA高等学院国際コース

日本語学校



私は日本の「うめぼし」が好きです。うめぼしはすっぱいあじと、あまいあじがあります。うめぼしは果物です。うめぼしはご飯といっしょに食べたら、しょくよくがあがります。うめぼしは体にとてもいいと思います。

今月友達がかつどんのレストランにつれていってくれました。そのレストランにおいしいうめぼしがありまし

好きな食べ物

J1 クリスチャン・ゴモネ（フィリピン）

た。前はうめぼしがあまり好きじゃなかったのですが、食事のときうめぼしがあっても、あまり食べませんでした。でもその時うめぼしを食べたら、すっぱくて、あまいあじがしておいしいと思いました。その時からうめぼしが好きになりました。

うめぼしを朝ごはんの時、いっしょに食べます。しょくよくがあがりますから、たくさん食べます。そうすると一日中、おなかがずかなくなります。

(原文のまま)

日本語教師養成講座



ボランティアスタッフ
ウィルソン 桂子

名古屋YWCAの日本語教師養成講座を修了後、グローバルスクール（以下GS）高校昼間・高校準備クラスのボランティアとして参加させていただくようになって4年が経ちました。

初めてGSに参加した時には、通っている学習者の日本語のレベルに合わせて指導を行っているこのクラスのきめの細かさにとても驚いた事を覚えています。

今年は主に高校準備クラスを担当し、高校入学を目指す子どもたちへ日本語のサポートをしています。通い始めの頃は、平仮名もおぼつかない学習者も多くいます。慣れない日本の生活の中、アルバイトをしながらの日本語学習は多くの子どもたちにとって、ととても大変な毎日だと思います。それでも日本の高校へ入学することを目標に頑張っている姿を見ると、教えているこちら側もパワーをもらえ、少しでも力になりたいと思います。

グローバルスクール

ただ、入試の準備をサポートしながらいろいろな子どもたちと触れ合う中で、『このままの日本語力ではたして高校に送り出してしまっても良いのだろうか、入学してから（日本語の理解が）大丈夫だろうか』と、葛藤を感じることもあります。正解は分からないでいます。

2月18日に入試の合否が出ました。結果は見事、全員合格！偶然にも今年は合否発表の日とGSクラスが同じ日にありました。クラスで講師陣がそれぞれ子どもたちに「合格おめでとう」と声をかけると、嬉しそうに「ありがとうございます」と、今まで見たことのない満面の笑みで答えていました。私たちも本当に嬉しく、ほっとしています。

GS高校準備クラスの一年のゴールは入試に合格することですが、合格した子どもたちにとっては、また新たなスタートとなります。高校に入学してからも困ったことがあったら、GSに相談に来てほしいです。

そしてまた、4月から新しいクラスが始まります。これからも子どもたちと一緒に成長していけたらと思います。

祝合格!

専門学校 2名、高校 31名（内、NYAIC 1名）、夜間中学 1名（3月6日現在）

2024年度も多くの子どもたちが新しい門出を迎えました。これから子どもたちが自分の夢に向かって歩み続けられるようサポートを続けていきます。今後ともご支援をよろしくお祈りします。

女性弁護士による **女性のための**
無料 法律相談
毎月第2木曜日 午後2時～5時
場所：名古屋YWCA
*1人1回限り/1時間
要予約 TEL 052-961-7707
*予約後、女性弁護士が担当できなくなった場合はご連絡します



子どもの頃から音楽を聴くのが好きだ。昔は自分のお気に入りの歌謡曲やクラシックの曲を、CDコンポでじっくり何回も聴いていた。大人になってから鑑賞に浸るひとときが減り、何かをするときに音楽を聴く「ながら族」になった。夫や子どもが流す音楽を、意識せずに聴くようにもなった。

そして最近、NHK-FMの朝のラジオ番組から流れるクラシックを楽しんでいる。これもじっくり聴くのではなく、家事をするときに「ながら族」。でも新たな発見があったとしても心地よい。自分では聴こうとしない曲を知ることできる。誰かが考えたり、選んだりして流す音楽を「ながら族」で聴くこと。少し受け身だけれど、それが今はひとつの楽しみになった。鑑賞に浸る時間が減った分、接する音楽は増えた。近い将来子どもも楽しんでいくから、今のうちに子どもが流す音楽を楽しんでおこうと思う。

(NYA-C非常勤講師 宮治磨里)

運営委員会報告

ご協力ありがとうございました (以下、敬称略)
 ●指定寄付
 ＊パールサポートへ：岩田玲子、祖父江修、西田文乃、伊藤香織、日本キリスト教団南山教会、谷川いつみ、山崎京子、匿名一名
 ＊日本語学校奨学金基金へ：磯村美保子、横井那子、匿名七名
 ＊グローバルスクールへ：日本キリスト教団南山教会、浦山郁子、匿名一名
 ＊国連女性の地位委員会(CSW)参加補助：武岡路実

理事会報告

【二月】報告①日本YWCA ②二〇二四年度十月～十二月事業 ③二〇二四年度四月～十二月会計 ④運営委員会 ⑤不動産賃貸事業・会館管理 ⑥人事委員会 ⑦広報ファンディング委員会
 〔協議〕①二〇二五年度事業計画案 ②二〇二四年度の推定決算及び二〇二五年度予算案 ③二〇二四年度全体集会 ④名古屋YWCA中期計画(五年間)並びに組織課題 ⑤顧問弁護士事務所契約 ⑥顧問税理士事務所契約 ⑦二〇二五年度定時評議員会

【二月】報告①日本YWCA ②理事会 ③キリスト教基盤部会 ④青少年部会 ⑤グループ ⑥会員状況 ⑦運営委員等候補者選考委員会⑧多文化まつり
 〔協議〕①クリスマス寄付 ②多文化まつり③全体集会

【人事異動】
 ●採用(二〇二四年度)
 渡邊洋美(サポート校職員) 四月一日付
 山添友紀子(日本語学校職員) 六月一日付
 麻生あゆみ(二階受付パート) 十月一日付
 ●退職(二〇二四年度)
 和田貴子(日本語教師養成講座職員) 四月二十日付
 間宮由貴江(日本語学校パート) 六月三十日付

【訃報】
 長きにわたるお働きを終え、天に召されました。安らかに憩われますよう心よりお祈り致します。
 柳原よう子さん(二〇一七年入会) 二〇二四年三月十一日逝去
 西山節子さん(一九八八年入会 八月二十二日逝去)

チャンネル登録
 お願いします

名古屋YWCA公式
 YouTube

「女性と子どもの幸せ活動」のための
BOOKフェス
 vol.8
 あなたのBOOK愛が寄付になる

次はあなたに読んでほしい
古本市
 もう読まない本、聞かないCD、観ないDVDを
寄付してください

・名古屋YWCA 2階受付へお届けください。
 募集期間：4月10日～6月14日
 ・百科事典、週刊誌はご遠慮ください。

21日(土)11時～15時 23日(月)10時～13時

22日(日)はお休み

絵本マンガもOK!
 本日もOK!

広報ファンディング委員会

2階ロビー販売

ひょうたんカフェ
 第2金曜
 11:30～13:15
 おからドーナツ、手織り製品など

MO-YA-CO
 第2、4火曜
 11:00～13:30
 焼き菓子、シュークリームなど
 変更の場合があります

寄付のお願い 名古屋YWCAの活動は、みなさまのご寄付と会員の働きで支えられています。みなさまのあたたかいご支援を心よりお願いいたします。

2階受付窓口
 名古屋YWCAビル2階の受付でお手続きください。物品の寄付も受付けています。詳細はお問い合わせください。

クレジットカード決済
 名古屋YWCAホームページ「寄付のページ」、またはQRコードからおすすみください。

郵便振替
 郵便局の払込用紙をご利用ください。振込み手数料はご負担ください。
 □座番号：00820-0-47814
 加入者名：公益財団法人名古屋YWCA
 ※通信欄に「〇〇へ寄付」と寄付先をご記入ください。
 ※機関紙などにお名前を公表します。匿名を希望される方は「匿名」とお書き添えください。

会員になっていっしょに活動しましょう
 YWCAでは、理念である「平和で人権が尊ばれる社会の実現」のため、会員が自主的に運営、活動を実施しています。
 詳細はお問い合わせください。

Facebook @nagoyaywca
 Twitter @nagoya_ywca
 Instagram nagoyaywca

発行所：公益財団法人 名古屋YWCA 〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-3
 TEL：(代表) 052-961-7707 FAX：052-961-7719
 e-mail：office@nagoya-ywca.or.jp HP：http://www.nagoya-ywca.or.jp

発行責任者 加藤佐紀子 編集責任者 下方タ子
 偶数月1日発行
 1部50円・定期購読1年900円/送料込み
 振替 00820-0-47814